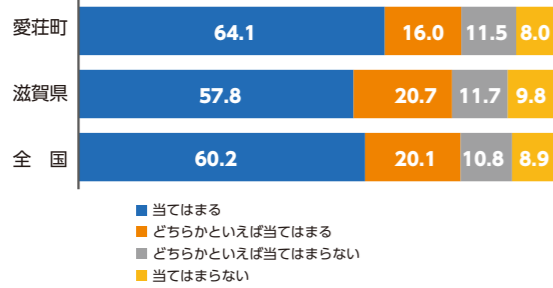


令和3年度児童・生徒質問紙調査の結果

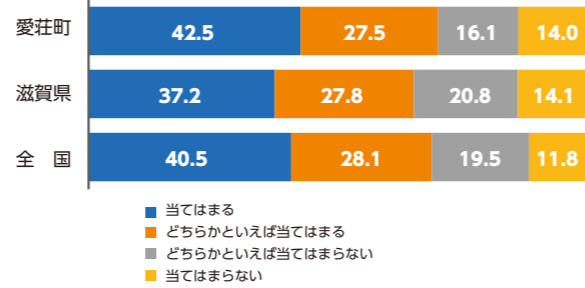
小学校

中学校

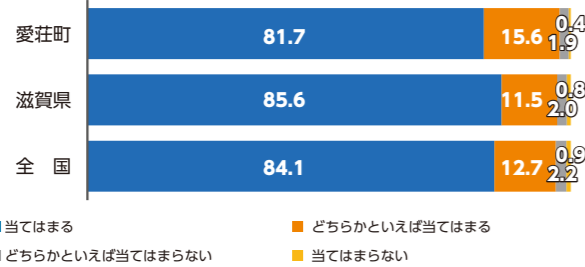
将来の夢や目標を持っていますか？



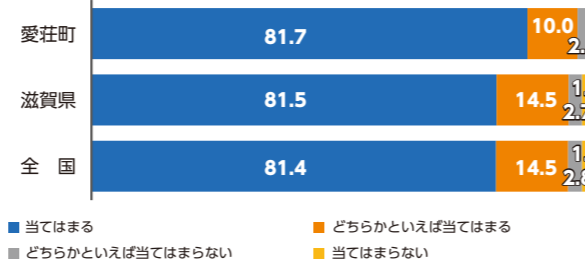
将来の夢や目標を持っていますか？



いじめはどんな理由があってもいけない



いじめはどんな理由があってもいけない

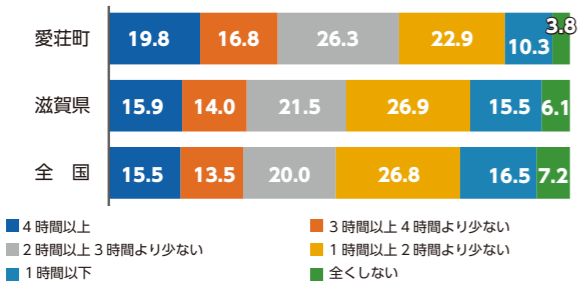


小学校中学校ともに、「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に答えた割合が高く、キャリア教育の成果が出ているように感じます。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに対して、小学校で97.3%の児童、中学校で97.9%の生徒が、いじめはいけないことだと答えています。コロナ禍における様々な経験や知見をもふまえ、新たな視点での人権教育が重要視されています。児童生徒の人権感覚や人権意識を、確かな実践力に高めていく取組を継続していきます。

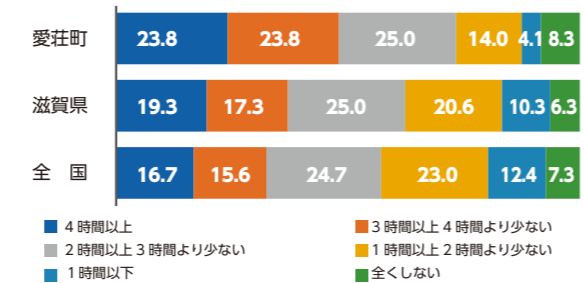
小学校

中学校

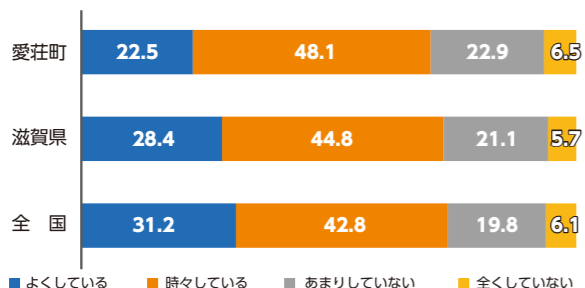
1日のゲーム時間



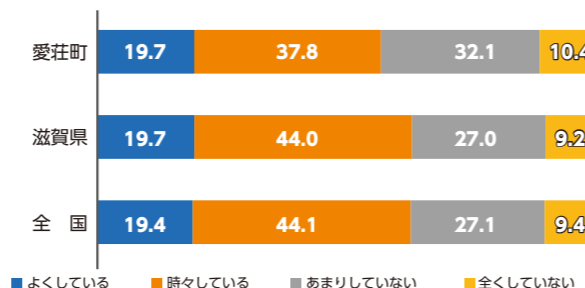
1日のゲーム時間



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？



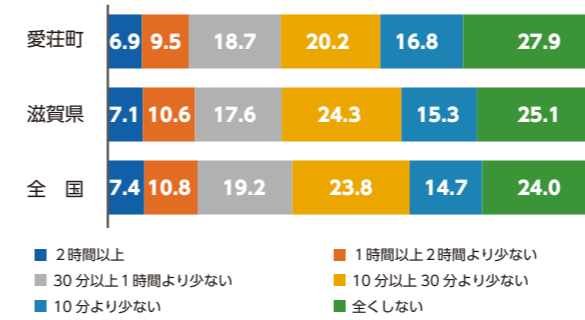
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？



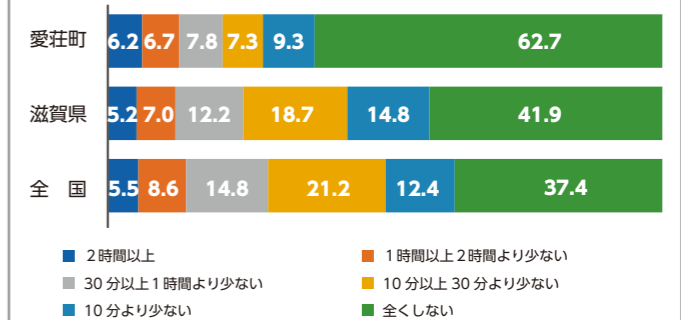
小学校

中学校

普段、1日当たりどれくらい読書を読みますか？



普段、1日当たりどれくらい読書を読みますか？



学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たり10分以上読書をするという児童が55.3%、生徒が28.0%にとどまりました。全くしないと答えた児童は27.9%、生徒が62.7%もいました。読解力の基盤となる読書に取り組みましょう。読解力は全ての教科の根幹になる力です。

学校の学力向上策

○基礎基本の学力の定着に引き続き取り組みます

学び振り返りウィークを設定するなどして、「復習」や「くり返し学習」に取り組み、学力の定着を図ります。

○どの子ども力を伸ばせる授業づくりを行います

「わかる」「できた」が実感できる授業づくり、「わからない」が解決できる授業づくりに取り組みます。また、一人一人の学びの姿を見取り、個に応じた課題に取り組む「個別最適化」された学びを取り入れます。どの子ども自分の力が伸ばせる学習に取り組みます。

○一人勉強につながる家庭学習の指導

小学校では、中学校のテスト期間に合わせて「自主勉強チャレンジウィーク」を設け、自主的に家庭で勉強できるよう指導します。目的を示し、時間を保障し、方法を伝え、取り組みやすくするための支援をします。そして、ゆくゆくは自分で計画を立てて「一人勉強」することにつながるよう継続した取組を進めます。

○ねばり強く課題に取り組むための支援

一人でじっくりと考える時間、分からないことを解決するために友達とたづなり話し合える時間を授業の中に設定します。

○読書のススメ

園や学校で、より一層本を手取る時間を増やしていきます。本の貸し出しの促進、本や図鑑で調べる活動など、学校園ごとに工夫していきます。

普段（月曜日から金曜日）、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）を1日当たり1時間以上していると答えている割合が、小学校で85.8%、中学校で87.0%にも上りました。4時間以上していると答えている児童生徒は、愛荘町ではだいたい5人に1人いるような状況です。今回の調査では「ゲーム」についての質問でしたが、「メディアの利用」と範囲を広げると割合がもっと高くなる可能性もあります。

反対に、家で、自分で計画を立てて勉強（学校の授業の予習や復習を含む）をしている児童生徒の割合が低くなっています。学習に対する姿勢、学習習慣の定着に課題があると考えられます。学校での学習を生かしながら自分で計画を立てて「一人勉強」に取り組めるようにしていくことが大切です。家庭学習（学校からの課題、予習復習、次の日の学校の用意を含む）「20分×学年」に取り組めるように計画を立てて実行しましょう。

小学校	1年生	20分	予習、復習、学習用具の準備、読書、運動、楽器の練習も含まれます。まずは「かたち」から。
	2年生	40分	
	3年生	60分	
	4年生	80分	
	5年生	100分	
	6年生	120分	
中学校	1年生	2時間以上	ノート作りや、定期テストのスケジュールに合わせて工夫して学習するなど、「質の向上」を図りましょう。
	2年生		
	3年生		